

立山砂防90年の

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間 6/1▶30

立山砂防90周年
記念講演会

歩みを振り返る



「立山砂防と赤木先生」

全国治水砂防協会理事長 **岡本 正男** 氏

入場無料
参加者募集

「立山カルデラが語りかけてくるもの ～崩れに挑んだ人々との出会い～」

立山カルデラ砂防博物館理事 **吉友 嘉久子** 氏



平成28年**6月19日**

10:20～12:20 〈受付9:50～〉

オークスカナルパークホテル富山

2階「鳳凰の間」

〒930-0858
富山県富山市牛島町11-1

募集定員 300名

入場無料

- ・事前申込を受付しております。
詳しくは裏面をご覧ください。
 - ・ご希望の方は、どなたでもご参加いただけます。
 - ・当日のご参加も可能です。
- なお、会場の都合によりご遠慮いただく場合がございます。

■ **共催**／国土交通省 立山砂防事務所
富山県
立山砂防女性サロンの会

■ **後援**／富山市、立山町、立山山麓防災・安全対策協議会、立山・神通砂防スペシャルエンジニア、(一社)北陸地域づくり協会、富山県治水砂防協会、全国治水砂防協会立山支部、(一社)斜面防災技術協会富山支部、富山県建設業協会立山支部、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(一社)富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、富山県立山カルデラ砂防博物館、NPO 法人富山県砂防ボランティア協会、富山県防災士会

県民の悲願 国による立山砂防着手から90年

大正15年(1926)、県民の悲願により常願寺川の砂防が国の直轄事業に引き継がれ、今年で90周年を迎えます。

今日に至る90年の永きにわたり砂防施設の建設が営々と進められたことで、いまの富山平野の安全が確保されています。この90年の節目を迎え、砂防事業の大切さを県民の皆さんに理解していただく場として記念講演会を開催します。

プログラム

9:50	開 場	
10:20	開 会	
	開会挨拶	国土交通省北陸地方整備局 富山県
11:00	事業報告	報告「直轄砂防90年の歩み」 国土交通省立山砂防事務所長 大坂 剛
11:20	記念講演	「立山砂防と赤木先生」 (一社)全国治水砂防協会 理事長 岡本 正男 氏 「立山カルデラが語りかけてくるもの ～崩れに挑んだ人々との出会い～」 (公財)立山カルデラ砂防博物館理事 吉友 嘉久子 氏
12:20	閉 会	



立山砂防の歴史

1858 (安政5年)	飛越地震により立山カルデラ内で大崩壊。富山平野を大土石流が襲う
1906 (明治39年)	県営砂防事業開始
1926 (大正15年)	国直轄砂防事業開始 内務省新潟土木出張所立山砂防工事事務所設置 (立山温泉地先)
1929 (昭和4年)	千寿ヶ原～樺平間の軌道開通
1939 (昭和14年)	白岩砂防堰堤完成
1965 (昭和40年)	千寿ヶ原～水谷間の軌道全線開通
1984 (昭和59年)	多枝原平砂防施設に着手
2009 (平成21年)	白岩砂防堰堤重要文化財指定 (砂防施設では国内初)

参加申込

申込方法 郵送 または FAX

はがき、または下記様式に、住所、氏名、電話番号、参加人数(1回4名様まで)を明記の上、郵送またはFAXでお申し込み下さい。

申込・お問合せ先 国土交通省北陸地方整備局 立山砂防事務所 総務課
〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦嶮寺字ブナ坂61番地
TEL.076-482-1111 FAX.076-482-1101

切り取り線

申し込み用紙

立山砂防90周年記念講演会 **立山砂防90年の歩みを振り返る**

ふりがな	(会社・団体名等)	参加人数	名
氏名			
〒	住所	電話番号	